大分大学

2024年度

大学院教育学研究科

教育学部

概要

OITA UNIVERSITY
FACULTY OF EDUCATION
GRADUATE SCHOOL OF EDUCATION

OITA UNIVERSITY

はじめに

本学部は大分県師範学校から148年となる本学で最も歴史のある学部です。現在は初等教育（小学校及び幼稚園）と中等教育（中学校と高等学校）を網羅する初等中等教育コースと特別支援教育コースとで構成されています。

本学部は「優れた教員を育成する」と共に、「教員にする」ことを目指しています。新たな学びや地域の教育課題に的確に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員を中心に、隣接する幼稚園教員、中学校教員、高等学校教員の養成を行っています。教員にするという観点では、正規カリキュラムに加え、学部教員全員による個別指導を行い、教員採用試験受験の手厚い支援を行っています。その成果が過去８年間の正規教員就職率全国一位という結果です。

自分の人生を変えてくれた先生の言葉を経験した方も多いと思います。教員は、児童生徒の成長を促し支えることのできるやりがいの大きな仕事です。「学校の先生になりたい」という思いを抱いている皆さん、その夢を叶えるため、大分大学教育学部で教師としての確かな指導力や豊かな人間性を身につけ、一緒に教職の道を目指しましょう。

令和６年７月

大分大学　教育学部長
大学院教育学研究科長　藤　井　弘　也

目 次

はじめに …… 1
教育課程と進路 …… 2
教育学部 …… 3
大学院教育学研究科 …… 5
理想の教師像を具体化する
サポート体制 …… 7
附属教育実践総合センター …… 10
附属学校園 …… 11
教員紹介 …… 13
大分大学教育学部
入学者受け入れの方針 …… 14
大分大学教育学部
卒業認定・学位授与の方針と
教育課程編成・実施の方針 …… 15
建物配置図 …… 16

教育課程と進路

Education Courses and Careers after Graduation

教　育　学　部

（　）内は入学定員

学　校　教　育　教　員　養　成　課　程（150）

初等中等教育コース（140）	特別支援教育コース（10）

教　養　教　育　科　目

〈全学共通科目〉地域の教育課題、情報処理入門など　〈外国語科目〉小学校英語演習など

課　程　共　通　科　目

人権教育論、生涯学習概論、教育支援実践研究、板書演習、学校教育におけるICT活用、
小学校におけるプログラミング教育、教育コミュニケーション力の開発など

― コースの主な授業科目 ―

教師学、教育本質論、発達と教育の心理学
現代社会と教育、教育制度・経営論
特別支援教育論A、各教科指導法（小）
道徳の指導法、総合的な学習の時間の指導法
特別活動の指導法、教育課程・方法論
生徒指導論、教育相談、教育実習
教職実践演習、初等教育教科に関する科目
教職入門ゼミ、教職展開ゼミ
小学校学級指導演習
幼稚園教諭免許に関する科目
中学校教諭免許に関する科目など

特別支援教育概論
障害児教育総論
知的障害児の心理・生理・病理
知的障害児の教育と指導法
肢体不自由児の心理・生理・病理
肢体不自由児の教育と指導法
病弱児の心理・生理・病理
病弱児の指導法
重複障害教育総論
学習障害（LD）児等の心理と指導法
障害児教育史
障害児教育実習など

卒業後の進路

教員（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園）
大学院進学、その他

地域の教育に貢献する質の高い教員を養成します

Faculty of Education

教育学部

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、および隣接校種である中学校教員、幼稚園教員、特別支援学校教員の養成を行います。

学校教育教員養成課程

初等中等教育コース

入学当初から、初等教育教科に関する科目の全教科及び基本教職に関する科目を学び、小学校教員に求められる基礎的資質、知識を身に付けます。２年次からはさらに、隣接校種である中学校あるいは幼稚園の教員免許を取得するための科目を学びます。

その上で、教育展開科目や附属小学校又は公立小学校での教育実習（主免１）、附属中学校もしくは附属幼稚園での教育実習（主免２）を通して、学校を取り巻く地域の教育課題への意識や、教師としての自覚を形成するとともに、子ども理解と適切な指導力を身に付けます。

４年間の学習・体験を通して、新しい時代を担う子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、および中学校や幼稚園の教員を養成します。

特別支援教育コース

入学当初から、知的障害や肢体不自由などのある子どもたちと直接触れ合う機会を多く設けています。その実践的な体験を重視しつつ、障害児の心理・生理・病理と教育課程・指導法について専門的に学びます。

特別支援教育に関する教育実習は、附属特別支援学校における教育実習に加え、公立特別支援学校における実習もあり、質・期間が充実しています。また、特別支援学校教諭免許状は、基礎免許状が必要であるため、小学校の教育実習もあり、小学校教諭免許状も必ず取得します。

特別支援教育コースは、学生主体の行事も充実しているのが特徴です。

そして、子どもたちの特別な教育的ニーズに応えられる特別支援学校の教員及び小学校・中学校の特別支援教育の中心的役割を担える、特別支援学級や通級による指導を担当する教員の養成を行っています。

教育実習（小学校）

情報処理入門

知的障害児教育演習

取得できる教員免許状

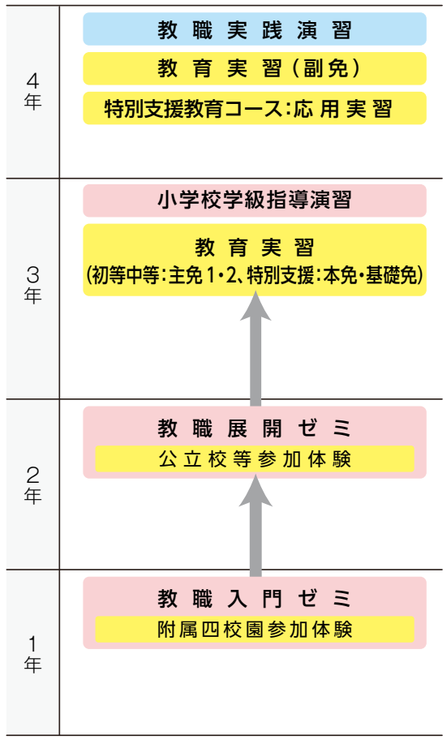
課程	コース	卒業要件単位に含まれる科目の修得のみで取得できる教員免許状		卒業要件単位に含まれる科目のほか、当該教員免許に必要な科目の修得により取得できる教員免許状	
学校教育教員養成課程	初等中等教育コース	必ず取得	●小学校教諭１種	いずれか１つを選択（学校種や教科によって人数制限があります。）	●幼稚園教諭１種／２種 ●中学校教諭１種／２種（左欄で中学校教諭を選択した場合は、選択した教科以外の教科を選択できる。） ●特別支援学校教諭１種／２種
		いずれか１つを必ず取得（学校種や教科によって人数制限があります。）	●幼稚園教諭１種／２種 ●中学校教諭１種／２種		
	特別支援教育コース	両方を必ず取得	●特別支援学校教諭１種 ●小学校教諭１種／２種	いずれか１つを選択（学校種や教科によって人数制限があります。）	●幼稚園教諭１種／２種 ●中学校教諭１種／２種

【１種免許について】　１種／２種と記載している免許は、２種免許に必要な科目に加え、さらに追加で所定の単位を修得することで１種免許を取得することができます。

【中学校教諭免許について】　国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の免許が取得できます。

【高等学校教諭免許について】　中学校教諭１種を取得すれば、さらに所定の科目の単位を修得して同じ教科の高等学校教諭１種が取得できます。取得可能な高等学校教諭免許の教科は、国語、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語です。

教育実習計画



※特別支援教育コースでは、小学校に基礎免許の実習に行きます。

現在、実施しているカリキュラムでは、教育実習と実習の成果を省察する授業が一体的に構成されている点が大きな特徴です。こうしたカリキュラムを通して学び、最終的に「教職実践演習」で教員としての最小限必要な資質・能力が獲得されているかを確認します。

出身都道府県別学生数（出身校）

令和６年５月１日現在

都道府県＼年次	教育学部				合計
	１年	２年	３年	４年	
大分県	83	107	88	83	361
福岡県	11	9	10	12	42
佐賀県	4	3	2	4	13
長崎県	6	7	6	7	26
熊本県	12	6	7	7	32
宮崎県	6	2	3	7	18
鹿児島県	5	0	2	0	7
沖縄県	0	0	1	2	3
愛媛県	1	0	2	1	4
香川県	0	2	0	2	4
徳島県	0	0	0	0	0
山口県	2	6	3	5	16
広島県	1	5	4	4	14
岡山県	1	0	2	1	4
島根県	4	0	1	1	6
鳥取県	2	1	0	4	7
兵庫県	3	0	1	1	5
大阪府	2	3	0	0	5
その他の都道府県	7	4	3	7	21
合計	150	155	135	148	588

理論と実践の往還を通して高度な専門性を備えた教員を養成します

Graduate School of Education

大学院教育学研究科

教職開発専攻〔教職大学院〕（定員20名）

理論を基盤とする高度な実践力を身につけたい現職教員と学部卒生が対象

教育学研究科教職開発専攻は、学部教育で培われた基本的知識と教育的指導力、また、学校教育現場における経験を通して蓄積した教育者としての資質や能力を、教職大学院で学修する教育理論を基盤とする高度な教育実践力にまで高めた学校教員を輩出することで、地域の教育がかかえる課題の解決と将来の学校教育の発展に寄与することを基本理念としています。この理念に基づき、本専攻では、「新たな学校づくりにおいて指導的役割を果たし得るスクールリーダー」や「新しい学びや多様な教育課題に対応し得る実践的指導力をもった教員」を養成することを目的とします。

理論と実践を架橋した教育

４つの分野のプロフェッショナルを育成するために、実務家教員と研究者教員のティーム・ティーチングによって、高度な専門的知識と実践技術を教授します。また教育学部や附属教育実践総合センターの教員も、兼担教員として教職大学院の授業科目を担当します。

◆４つの分野で プロフェッショナルを育成

- 学校経営
- 授業開発・教科教育
- 学級経営・生徒指導
- 特別支援教育

◆高度な教育実践力を養う「理論と実践の往還」

学修したことを生かし、教育課題に対する解決策や改善策を構想・実践

教育理論や教育技術に関する研究 ⇄ 学校実習における実践経験

実践経験に対して、理論的、学術的な視点を加えて省察

最新の学問的知見に基づく**研究者教員**の支援・指導

豊富な実践経験に基づく**実務家教員**の支援・指導

教科の内容や教育方法、生徒指導や学級経営、特別支援教育など多岐にわたる分野におけるプロフェッショナルが揃う**学部教員（兼担教員）**

《多様な視点と立場を持つ 教員による協働的な支援・指導》

共通科目では、現職教員の院生と協働的に学ぶことで実践力を高めます。

実践的知識の習得、その知識を活用した事例分析、そして具体的なデータ等を用いた演習を中心とした授業を行っています。

教職大学院のカリキュラムイメージ（修了要件45単位）

共通科目（16単位）

●基礎理論科目（10単位）
「カリキュラムデザイン基礎」
「授業開発・学習指導基礎」
「生徒指導・教育相談・特別支援基礎」
「学校の組織づくり基礎」
「教員の専門性開発基礎」

＋

●実践演習科目（選択必修6単位）

実習科目（10単位）

●学校や関係機関などで2年間で400時間の実地経験を積みます。

省察科目（9単位）

●実習の経験を振り返り、2年間の研究成果として報告書を作成し発表します。

高度専門科目（多様な科目群から選択・5科目10単位以上）

●学校マネジメントに関する領域（5科目）	●授業研究・授業開発に関する領域（4科目）	●児童生徒理解・学級経営に関する領域（4科目）	●特別支援教育に関する領域（8科目）	●学校研究に関する領域（1科目）

取得できる免許状の種類

幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状、特別支援学校教諭専修免許状（領域：知的障害者、肢体不自由者、病弱者）

１種免許状を取得している者が当該専修免許状に必要な単位を修得して本研究科を修了すれば、専修免許状が取得できます。

実習風景
２年間で計400時間の実習で実践力を高めることができます。

令和５年度修了生の就職状況（大学院）

令和６年５月１日現在

専攻	性別	修了者数	公立学校教員						私学教員	臨時教員	官公庁等	企業等	医療・福祉	その他	進学等
			小学校	小中連携教諭	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園							
教職開発	男	14	8		4	1	1								
	女	6	3		1				1	1					

内訳：「男性」小学校３名・中学校１名・特別支援学校１名は現職　「女性」小学校２名は現職

理想の教師像を具体化するサポート体制

Support System

教員就職率及び正規教員就職率で４年連続全国１位！

文部科学省が発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の大学別就職状況」より、令和５年３月卒業生の教員就職率（正規＋臨時）及び正規教員就職率が４年連続全国１位となりました。

これは、文部科学省が国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）44大学・学部の大学別就職状況を調査し毎年発表するもので、本学教育学部は、教員就職率（77.1％）及び正規教員就職率（70.8％）が令和２年３月卒業生から４年連続で、全国の国立教員養成系学部・大学の中で１位となりました。

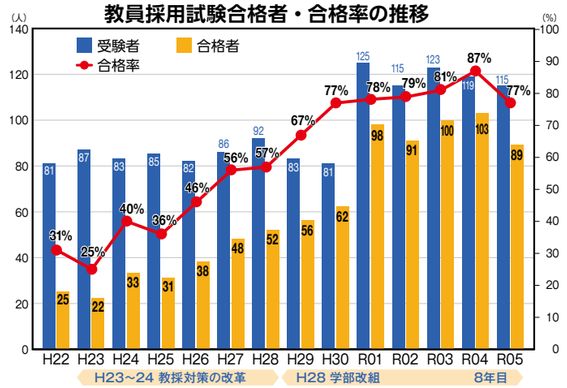
また平成28年３月から令和５年３月までの８年間の平均でも、教員就職率が73.6％（全国平均59.1％）、正規教員就職率が60.5％（全国平均41.8％）となり、ともに全国１位で、本学教育学部は、安定して全国トップの教員就職率を維持しています。

令和５年３月卒業者の大学別正規教員就職状況
〔教員養成課程〕上位5大学

	卒業生に対する教員就職率（正規+臨時）		卒業生に対する正規教員就職率※
1	大　分（77.1%）	1	大　分（70.8%）
2	鳴門教育（76.6%）	2	福岡教育（62.4%）
3	福岡教育（74.1%）	3	長　崎（61.9%）
4	上越教育（71.3%）	4	広　島（59.6%）
5	兵庫教育（67.7%）	5	佐　賀（59.3%）

※Ｒ５年公表文部科学省報道発表資料より算出

教員採用試験合格者・合格率の推移



高い教員採用率を支える手厚い指導

本学部・研究科が目指すのは、より多くの学生が教員採用試験に合格することだけではなく、学校現場で意欲的に活躍するよい教員を育てることです。そのために、理論と実践の両面から、個々の学生の特性を把握しつつ、きめ細かい指導を行っています。

- メンタリング・コーチングシステム（次ページ参照）による、個々の学生に寄り添った手厚い指導を行います。
- 教員全員で、教員採用試験（教採）に向けた指導・助言を行います。
- 授業以外の、よい教員を育てるための取組みとして、就職・進路支援室と教師育成サポート推進室によって実施される教採対策講座があります。

就職・進路支援室

教育学部には、学生の卒業後の進路選択や就職活動をサポートするために、就職・進路委員会が設置されています。直接学生と関わる窓口としては、就職・進路支援室が開設されており、教員採用試験を中心とした就職試験や進路全般に関わる相談や情報提供、教員採用試験に向けた各種講座を実施しています。

１．学内教員講座

教育学部の全教員による教員採用試験に向けた講座です。最近の教員採用試験で重要視されている模擬授業、個人・集団面接、集団討論等の人物試験対策を主に行います。

２．学外講師講座

学校現場の教員経験を有する外部講師による講座です。教員採用試験の直前に４年生を対象とした集団指導講座と３年生の春休みに実施する授業づくり実践講座があります。授業づくり実践講座では、県内の公立小中学校で、実際に授業を行い、授業力・指導力を向上させます。

＊メンタリング・コーチングシステムとは

複数の指導教員（メンター）が1年次から卒業まで、一人ひとりの学生に対応した修学指導や生活指導、教員採用試験に向けての指導（コーチング）を行います。

令和５年度卒業生の地域別教員採用数

地　域	小学校	小中連携教諭	中学校	高等学校	特別支援	幼稚園
大　分　県	37	3	8	1	7	2
福　岡　県	3					
福　岡　市	2					
北九州市		1				
佐　賀　県	2					
長　崎　県	4		1			
熊　本　県	3					
熊　本　市	1					
宮　崎　県	2					
愛　媛　県	2					
山　口　県	2		2			
広　島　県	1					
兵　庫　県	1		1			
茨　城　県	1					
合　計	61	4	12	1	7	2

※私学高等学校１名、私学幼稚園教諭１名　含む　令和５年9月卒業生該当なし

令和５年度卒業生の就職・進学状況

令和６年５月１日現在

コース別	性別	卒業者数	公立学校教員						私学教員	臨時教員	官公庁等	企業等	医療・福祉	進学等	その他
			小学校	小中連携教諭	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園							
初等中等教育コース（小学校教育コース含む）	男	60	31	2	7				1	9	3	2		3	2
	女	58	28	2	5			1		4	4	5	3	5	2
特別支援教育コース	男	2	1				1								
	女	9	1				6		1						
計	男	62	32	2	7	0	1	0	1	9	3	2	0	3	2
	女	67	29	2	5	0	6	1	1	4	4	5	3	5	2
学部全体	合計	129	61	4	12	0	7	1	2	13	7	7	3	8	4

※令和５年９月卒業生該当なし

教師育成サポート推進室

教師育成サポート推進室における教採対策は、教師を目指す学生に対して、教員採用試験に合格することを通過点とし、更にその先に「良い教師になる」ことを目標として見据えた支援を行います。良い教師とは何か。この問いの答えは、人それぞれ異なるものだと思います。教師育成サポート推進室では、皆さんがそれぞれ持っている教育観・子ども観・授業観を活かした上で、地域の子ども達や人々に求められる良い教師像（目指したい教師像）をイメージし、その教師像に近づけるように個別サポートしていきます。

具体的には、教師を目指す仲間が集まり、交流し、教師としての資質・能力を磨くことができる「教サポ室主催講座（教サポ講座、教師力育成講座など）」と、教員採用試験受験者に対して個別指導を行う「教サポ室教員採用試験個別対策（模擬授業・場面指導、集団討論・グループワーク、論作文指導、願書添削、面接指導）」を実施しています。また、教員採用試験個別対策の様子は毎回動画で撮影され、IDとパスワードで管理されたサイトで、自分の成長を動画で振り返ることが可能です。

教サポ講座で意見を交流する様子

IDとパスワードで管理されたサイト例

担当教員の声

教師育成サポート推進室では、教師を目指す皆さんそれぞれの良さを、しっかり引き出してくれる先生達が待っています。

大分県教員採用試験合格（初等中等教育コース）

髙倉 愛与 さん

私は、地元で教員になることが小学生の頃からの夢であったため、教員採用試験の合格率が高い大分大学教育学部に進学することを決めました。また、小学校教員になるか中学校教員になるかを迷っていたこともあり、小学校と中学校の両方の免許を取得できる点に魅力を感じました。

大分大学教育学部は、教員採用試験の支援・対策が手厚く、過去問や資料も豊富であるため、特に大分県で教員をしようと考えている学生にとっては、心強いのではないかなと思います。私自身、教採対策を始めてすぐの頃は何をするべきなのかがわからず不安が大きかったですが、先輩方の体験談や先生方のご指導のおかげで、自分に必要な対策をみつけることができました。教採対策を通じて教サポや支援室の先生方には大変お世話になり、教員になるための環境が整っている大学だと強く感じました。

そして、先生方の手厚いサポートももちろんですが、何より一緒に頑張った仲間の存在が大きかったと感じています。対策期間中は、毎日学校に集まり模擬授業や面接の練習をしていました。友人が頑張っている姿をみるたびに、自分も頑張ろうと気を引き締めることができました。

後輩の皆さんも大分大学の支援や環境を存分に活用して、仲間と切磋琢磨しながら夢に向かって頑張ってください。私も大分大学で得た学びや仲間を大切にしながら、春から教員として頑張ります。

北九州市教員採用試験合格（初等中等教育コース）

出口 大翔 さん

「新しいことに挑戦、自分の限界を突破！」これが私が大学入学前に掲げた目標でした。福岡県出身の私にとって、大分大学は県外であり、家族や地元の友達がいない環境は自分の限界を超える場面の連続でした。一人枕を濡らした時もありましたが、大分大学が私生活や学びのサポートをしてくれたので成長することができ、大分大学は私にとっては第二の母のような存在となりました。

教員採用試験では、教授の方々や進路支援室の先生方の手厚いサポートに何度も助けられました。私は教員採用試験は情報戦であると思います。いち早く、より深く、自分が受けたい自治体の情報を得ることができるかが合格の鍵になると思います。その点、大分大学は「教サポ」や「進路支援室」など様々な情報源が多くあるため、教員を目指すものにとっては最高の環境であると断言できます。

この大学生活では、愛するべき仲間の大切さを痛切に感じました。私はコロナウイルスによって1年生の頃から色々なことが制限される時代で大学生活を過ごしました。家で一人寂しく、孤独に怯える日々を過ごしたこともあります。しかし、そのような時に支えてくれたのはいつも愛すべき友だったと感じます。教員採用試験でも仲間と共に支え合うことで、厳しく辛い期間を乗り越えることができ、大きな光を見ることができました。

これからの教員生活でも、教授の方々や仲間への感謝と愛を忘れず、子どもたちの心の港なるような存在でありたいと強く思います。

茨城県教員採用試験合格（特別支援教育コース）

小舩 柚美 さん

教諭になることが私の小学校からの夢でした。教採対策を進めていく中で、地元で教職に就くことを志した私は、周りの友達とは異なるペースということもありとても不安でした。そのような時に、力をいただいたのが分大の「教サポ」や「支援室」です。一次試験のための講義や、二次試験のための面接・場面指導・集団討論・小論文対策をしていただきました。教採対策の日程を毎月組んで下さり、学内外問わず教採にお詳しい先生方に何度も見てもらう機会をいただいたおかげで、教採に受かることができたと思います。特に、二次対策は回数を重ねることが重要なことを私も身に染みて感じましたが、それが当たり前のようにできる環境を設定して下さっていたことに感謝しかありません。分大で教職を目指す方にとって大きな強みになると思います。

また、先生方だけでなく周囲の友達がいてくれたことが活力になりました。遅くまで一緒に勉強したり、毎日面接や場面指導を見合ったり、時には息抜きをして励まし合いました。教サポの対策で出会った友達もいます。試験前に教サポの時間以外にも対策をし合ったこともあり、仲を深めることができました。

このように、教サポと支援室の手厚い対策と、沢山の先生方や友達の存在があったからこそ、私は教諭という道を掴むことができました。

ぜひ分大で素敵な仲間を見つけてください。周りの人と支え合うことできっと困難も乗り越えられると思います。応援しています。

附属教育実践総合センター

Center for Research in Education and Human Development

■ 設置の目的と事業内容

附属教育実践総合センター（通称：実践センター）は、昭和54年に教育実践研究指導センターとして開設以来（平成13年に改称）、教育実践に関する理論的・実践的研究を行うとともに、教育実践の指導力を身に付けた教員の養成を担ってきました。

教育実践開発部門（教育実践研究、教員養成支援、教師教育実践、教育実践の指導）と発達教育臨床部門（発達障害臨床、教育臨床実践の指導〔休止〕）の２部門からなる本センターは、主に下記のような事業を展開しています。

教サポ講座で、教員採用試験を終えた4年生が3年生に教員採用試験体験談を話している様子

1 大学と附属学校園との連携・協力

教育学部と附属学校園が連携・協力し、教育実践研究、発達教育臨床研究や教育実習をより効果的に進めていくために、大学と附属学校園による「人材バンク」の相互活用を図っています。

その成果は、紀要、レポート、広報誌「Edu-ta!」、ホームページなどによって、公開しています。

2 地域の教育委員会等との連携

本センターは、大分県内各地域の教育委員会等と連携し、学校教育分野における多様な協力を推進しています。

大分市教育委員会とは大分市現職教員教育等連携推進協議会を共同で設置し、「まなびんぐサポート」のほか、現職教員の資質・能力の向上、そして教員養成教育に関する連携・協力等を行っています。

3 教育実習関連事業

学生が充実した教育実習を行えるよう、その事前・事後指導の企画・立案・実施を担っています。また、公立小学校で実習を行う教職展開ゼミの事前・事後指導にも携わっています。

こうした実習では、大学教員だけでなく、附属学校園や地域の教育委員会等の協力を得ながら、きめ細やかな指導を実施しています。

4 教師育成サポート推進室

教師育成サポート推進室は、学生個々が持つ教師像を向上化し、その教師像に近づけるように、教師観・子ども観・授業観を学修する講座（教サポ講座）を開講しています。

一方、教員採用試験に向けて模擬授業・場面指導・集団討論・個人面接・願書・論作文それぞれの個別対策も行っています。

5 「まなびんぐサポート」事業

平成16年度に大分市教育委員会との連携事業として開始された「まなびんぐサポート」事業は、教育現場からの支援要請に応え、地域の幼稚園や小・中学校に大学生を派遣するものです。

本センターでは、参加学生が教育現場での実践的指導力を高められるよう、この事業の企画・運営及び教育効果の検証等を実施しています。

6 そだちやまなびの相談 〔今年度は休止〕

発達障害・知的障害のある子どもやその保護者に対するカウンセリング、教師などへのコンサルテーション及び訪問相談などの活動を展開しています。

これらの活動には、臨床心理士の資格を持つ専任教員が当たり、地域の相談ネットワークにおいて、中核としての役割を果たしています。

附属学校園

Attached School

　教育学部には、附属の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が設置されており、それぞれの学校園として通常の教育を実施するとともに、次のような特別な任務を持っています。

四校園こども集会

縦割チーム掃除

教育実習指導

　教育学部学生の教育実習を計画し、直接その指導にあたります。

教育研究

　教育学部教員と協力し、各校園の教育理論と実践とに関する研究並びにその実証的な研究を行います。

地域教育への協力

　研究発表会、セミナー、共同研究会、研究協議などを通して、他の学校と教育交流を図り、地域の教育研究に協力します。

附属幼稚園

教育目標　主体的に生きる子どもの育成

目指す子ども像

- 心豊かなやさしい子ども
- 工夫し遊びを楽しむ子ども
- 明るく伸び伸びと生活する子ども

学級数及び園児定員数　令和６年度

区　分	普　通　学　級			計
	３歳児	４歳児	５歳児	
学級数	1	2	2	5
総定員	26	48	56	130

お花屋さん

附属小学校

教育目標　グローカルリーダー（Think globally,act locally）の育成
～未来へ向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、自己を磨き高め合う子どもの育成～

学習活動の様子

学級数及び児童定員数　令和６年度

区　分	普　通　学　級						計
	１年	２年	３年	４年	５年	６年	
学級数	3	3	3	3	3	3	18
総定員	90	105	105	105	105	105	615

附属中学校

教育目標　自主自律の精神の下、高い学力・深い愛の心・堪え忍ぶ力を兼ね備えた気品ある附中生の育成

青垣祭・合唱コンクール

学級数及び生徒定員数　令和６年度

区　分	普　通　学　級			計
	１年	２年	３年	
学級数	4	4	4	12
総定員	144	160	160	464

附属特別支援学校

教育目標　豊かに人や社会と交わり、自ら進んで取り組み、自己表現できる子どもの育成

目指す子ども像

- 明るく、元気なやさしい子
- 自ら進んで取り組み、自己表現できる子
- 人や社会と豊かに交われる子

学級数及び児童生徒定員数　令和６年度

区　分	小学部				中学部				高等部				合計
	1･2年	3･4年	5･6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	9
総定員	18				18				24				60

高等部　作業実習

教員紹介

（令和６年５月１日現在）

教育学部

学校教育教員養成課程

初等中等教育コース

教育学：	（教授）伊藤 安浩	住岡 敏弘	長谷川 祐介	
	（准教授）吉野 敦			
教育心理学：	（教授）藤田 敦			
幼年教育：	（准教授）永田 誠	向井 隆久		
国　語：	（教授）花坂 歩	藤原 耕作		
	（准教授）安道 百合子			
社　会：	（教授）青柳 かおり	甘利 弘樹	黒川 勲	鄭 敬娥
	（講師）渡邊 大貴			
	（特任教授）土居 晴洋			
数　学：	（教授）大野 貴雄			
	（講師）河村 真由美			
	（特任教授）川嵜 道広			
理　科：	（教授）大上 和敏	三次 徳二	藤井 弘也	
	（講師）小林 良彦			
音　楽：	（教授）栗栖 由美子	松田 聡		
	（准教授）清水 慶彦			
	（特任教授）田中 星治			
美　術：	（教授）廣瀬 剛			
	（准教授）藤井 康子	村上 佑介		
保健体育：	（教授）谷口 勇一	玉江 和義		
	（准教授）大塚 道太			
	（講師）内倉 康二			
技　術：	（教授）市原 靖士			
	（准教授）中原 久志	萩嶺 直孝		
	（講師）杉山 昇太郎			
家　庭：	（教授）財津 庸子			
	（准教授）川田 菜穂子	齊藤 友子	都甲 由紀子	
	（特任教授）望月 聡			
外国語：	（教授）麻生 雄治	御手洗 靖		
	（准教授）橋本 美喜男			
	（講師）大谷 由布子			

特別支援教育コース

特別支援教育：	（教授）衛藤 裕司			
	（准教授）古長 治基	五位塚 和也		

附属教育実践総合センター

（教授）麻生 良太
（准教授）森下 覚
（講師）前田 菜摘

大学院教育学研究科

教職開発専攻

専任教員

（教授）	内田 昭利	清國 祐二	佐藤 晋治		
（准教授）	大島 崇	熊丸 真太郎	河野 晋也	後藤 竜太	
	髙橋 徹弥	藤村 晃成	森竹 啓介	廣田 秀俊＜附属小学校長＞	
	友成 洋＜附属特別支援学校長＞				
（講師）	山本 遼				
（特任教授）	久保 隆	安田 憲司	渡邉 英樹		

兼担教員

（教授）	青柳 かおり	麻生 雄治	麻生 良太	甘利 弘樹	市原 靖士
	伊藤 安浩	衛藤 裕司	大上 和敏	大野 貴雄	栗栖 由美子
	黒川 勲	古賀 精治	財津 庸子	鄭 敬娥	住岡 敏弘
	谷口 勇一	玉江 和義	長谷川 祐介	花坂 歩	廣瀬 剛
	藤田 敦	藤原 耕作	松田 聡	御手洗 靖	三次 徳二
（准教授）	安道 百合子	大塚 道太	川田 菜穂子	五位塚 和也	古長 治基
	齊藤 友子	清水 慶彦	都甲 由紀子	永田 誠	中原 久志
	萩嶺 直孝	橋本 美喜男	藤井 康子	向井 隆久	村上 佑介
	森下 覚	吉野 敦			
（講師）	内倉 康二	大谷 由布子	河村 真由美	小林 良彦	杉山 昇太郎
	前田 菜摘				
（特任教授）	川嵜 道広	田中 星治	土居 晴洋	望月 聡	

大分大学 教育学部 入学者受入れの方針

アドミッション・ポリシー：AP

基　本　理　念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

教　育　の　目　標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

求める学生像

1．基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、及び隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2．学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
3．物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
4．子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

一般選抜（後期日程）
総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課しています。大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、個別学力検査では小論文とグループディスカッションを課しています。

学校推薦型選抜（初等中等教育コース）
総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及びグループディスカッションを課しています。大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

学校推薦型選抜（特別支援教育コース）
特別支援教育の担い手に必要な資質・能力をみるため、小論文、個人面接及びグループディスカッションを課しています（大学入学共通テストは課していません）。小論文、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

総合型選抜
総合的な学力及び教科の能力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及び教科〈音楽、美術、保健体育、技術、家庭〉の試験を課しています。大学入学共通テストは所定の5つの区分から任意の3つを選択し、個人面接及び教科の試験では提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分		検査項目	学力の３要素			求める学生像	
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		教科の試験	○	○			
		グループディスカッション（調査書）		○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		小論文		○			○
		グループディスカッション（調査書）		○	○	○	○
学校推薦型選抜（初等中等教育コース）		大学入学共通テスト	○	○			
		個人面接 グループディスカッション（調査書）（志望理由書）（推薦書）		○	○	○	○

入試区分	検査項目	学力の３要素			求める学生像	
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心
学校推薦型選抜（特別支援教育コース）	小論文	○	○			
	個人面接 グループディスカッション （調査書） （志望理由書） （推薦書）	○	○	○	○	○
総合型選抜	大学入学共通テスト	○	○			
	教科の試験	○	○		○	
	個人面接 （調査書） （自己推薦書） （活動報告書）		○	○	○	○

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。このような点から、一般選抜及び学校推薦型選抜（初等中等教育コース）において課している大学入学共通テストの教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、修得するとともに、応用的な力を養っておくことが必要です。総合型選抜においては、これらの教科・科目の試験すべてを課しているわけではありませんが、そこで受験しなかった教科・科目も大学入学までに十分に理解し、修得していることが望まれます。学校推薦型選抜（特別支援教育コース）においては、高等学校等において学習する教科・科目の試験を課していませんが、これらの教科・科目を大学入学までに十分理解し、修得していることが望まれます。

また、教科・科目の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望まれます。

国　語

他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

**地理歴史
公　民**

地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数　学

数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理　科

理科の各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、科学的に思考する能力を身につける必要があります。また、科学的な法則を単に知識として暗記するのではなく、どのような過程で導き出されたか探究的に学ぼうとする姿勢が大切です。
なお、修得しておくべき科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の中から３科目以上です。

**外国語
（英　語）**

外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情　報

情報と情報技術に関する基礎的な知識や技能、活用方法を身につけていることが必要です。また、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を修得するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を持っていることが求められます。

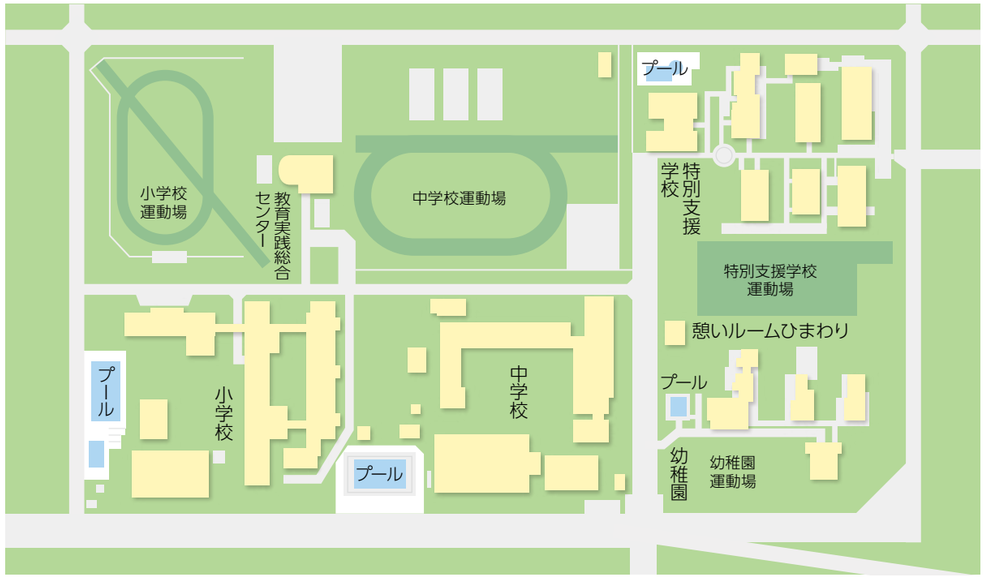
卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）については以下をご参照ください。

大分大学ホームページ ⇒ 大学の教育情報 ⇒ 教育の目標・三つのポリシー
https://www.oita-u.ac.jp/education/3policy.html#ad

Map 建物配置図

教育学部

附属学校地区



OITA UNIVERSITY

OITA UNIVERSITY

学　章

「OITA」と「UNIVERSITY」の頭文字「O」、「U」をモチーフに、躍動感あふれる２つの円でデザインした新しい大分大学の学章（シンボルマーク）です。

外側の円（青色）は、教育、福祉、医療、環境、産業経済、科学技術など新しい大分大学の研究・専攻分野が、常に新しいものを目指し、止まることなく前進し続け、地域の発展、さらには国際社会の発展に貢献するグローバルな様子を表現しています。

中央の円は、人々が集い学び、そして社会的、文化的な交流・活動の場所である大学キャンパスを表現しています。

「O」に使用している青色は、知性、誠実、探求心、自立心を表す色とされており、「U」の黄色は、希望、成長、幸福を象徴する色とされています。

大学の未来が希望に溢れ、光り輝き、そして発展していくようにとの願いを込めて、この２色を採用しました。

作者／神保 米雄 氏

ACCESS

大分大学

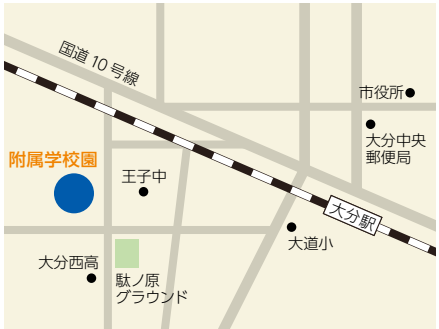
大分市内中心部バスのりば案内図

旦野原（だんのはる）キャンパス
（教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部：大分市大字旦野原700番地）

〈ＪＲ利用〉
ＪＲ豊肥本線「大分大学前」
下車（大分駅より約12分）、徒歩約10分

〈バス利用〉
大分バス　中央通り〔トキハ前１番のりば〕
又は　ＪＲ大分駅府内中央口（北口）
〔大分駅前３番又は４番のりば〕から
○「大南団地（高江ニュータウン）」行きを利用（約40分）、「大分大学」又は「大分大学正門」下車
○「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用（約40分）、「大分大学正門」下車、徒歩約10分
（詳細は時刻表で確認してください）

附属学校園



王子（おうじ）キャンパス
（附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校：大分市王子新町１番１号）

〈ＪＲ利用〉
大分駅より徒歩25分
西大分駅より徒歩20分

〈バス利用〉
大分交通
〔大分駅前７番のりば〕「県立図書館」行き乗車
「附属中学校前」「附属特別支援学校前」
下車、徒歩3分

大分大学教育学部
〒870-1192　大分市大字旦野原700番地　TEL（097）554-7504
ホームページアドレス http://www.ed.oita-u.ac.jp/

発行 大分大学教育学部総務係 TEL（097）554-7504
E-mail kyosomu@oita-u.ac.jp

令和６年７月発行
表紙デザイン 教育学部教授　廣瀬　剛